

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社阿蘇ネイチャーランド

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・年末年始に経営方針を示し、従業員に共有している。								8	9											17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・事業活動を行うにあたり協会・連盟等に所属し、ルールを遵守している。 ・アルコールチェックを毎日実施している。																				16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンスについて就業規則に定めており、定期的に従業員へ啓発を行っている。											10									16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社員全員でSDGsについて勉強会を実施したり今後の取組を検討する場を設け、事業活動にSDGsの理念を取り入れている。																				16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・従業員に対して、事業活動に必要な自社の技術や知識、ノウハウ等について、勉強会を行っている。 ・顧問税理士に相談可能な体制を整備しており、必要に応じて適宜相談し対策を講じている。										8.2		9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客の個人情報に関する書類を厳格に保管・管理しており、SNS等への掲載については事前に顧客の了承を得て写真等を使用している。 ・社員の個人情報は厳重に管理をしている。																				16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・自社の提供するアクティビティに対する口コミ等を確認し、顧客からの声を事業活動に反映させている。																				16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・環境省と希少植物保護に向けた情報共有を行っており、生物多様性の観点から阿蘇の自然資源の保全に取り組んでいる。					5						8			10			12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●															9				11				13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●														8		9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2																	16
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にハラスメント防止の旨、記載している。 ・障がい者でも参加可能なツアーを企画、実施している。 ・外国人向けのパンフレットを作成している。				4.3	5.1					8.5					10.2							16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・従業員が業務において必要な資格を取得し、事故防止に徹底して取り組んでいる。												8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・業務内容に応じ、従業員に対して公正な待遇を行っている。					5.5						8.5					10.2							10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外勤務に関しては、実施実績申請を行い管理している。 ・休暇取得を徹底している。						3					8.5					10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各種ライセンス、検定の取得にかかる費用を会社負担する。 ・OJTの風土づくりに努めている。					4	5.5					8		9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康診断受診を徹底している。 ・社員同士のコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりに努めている。												8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性社員比率は4割であり、女性が活躍できる職場づくりに努めている。					4.4	5.1	5.5				8.5					10.2							16.7	10.3
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・新型コロナウイルス感染対策の対応として、アルコール消毒、検温、手洗いを徹底している。 ・コロナ対策として、取引先や協会との打合せ等では可能な限りオンラインミーティングを取り入れている。													8	9.1			11			12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ネット予約システムを導入しており、現在予約の大半がネット予約で占める。 ・クラウドシステムを活用し、社内情報の共有を行っている。 ・各種SNSを活用した顧客向けの情報発信を行っている。 ・野手でカード決済できるシステムを導入している。													8		9.1			11			12			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社阿蘇ネイチャーランド

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社阿蘇ネイチャーランド

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・アクティビティ実施の際のゴミの持ち帰りの徹底や、事業場の廃棄物(気球、パラグライダー等)の適切な廃棄を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業所の電気を一部LEDを使用するなど、節電に取り組んでいる。 ・自社の使用するガソリンや電力について月次で管理・把握している。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】外部コンサルを活用し、自社CO ₂ 排出量の算定。毎月の使用量を管理していく(2023/1) 【予定】事業所の電気を全部LEDにする等削減に向けた取組を検討していく。(2023/10) 【長期検討項目】アクティビティに使用するエネルギーをクリーンエネルギーへの転換を検討している。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・希少植物等について従業員が把握し、保護に努めている。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・リサイクルされた耐久性の高い素材を活用した軍手をエコ製品として販売している(アクティビティに使用)。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川でのアクティビティを通じ、保全に努めるとともに環境教育を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a							11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・間伐材を使用し、箸作りなどの体験型アクティビティを実施している。 ・リサイクルされた耐久性の高い素材を活用した軍手をエコ製品として販売している(アクティビティに使用)。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・草原や牧野等について、週2~3回程度、草刈りを実施することで維持、保全、管理に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所内の照明をLEDに変更している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ペットボトルをはじめとするプラスチックゴミについて、分別して処理する等適切に廃棄している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・レンタサイクル事業を展開し、自動車の使用の抑制を促している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・事務所内にエアコンを設置していない等、節電に取り組んでいる。 ・【予定】CO ₂ 排出量の算定および見える化を実施(2023/1) ・【予定】植林活動の実施(2023/10)								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社阿蘇ネイチャーランド

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・社員が必要な資格を取得し、所属する協会や連盟等におけるルールや法令を遵守することで安全なアクティビティを提供している。 ・レンタサイクルにおける交通ルール遵守の説明を利用者に対し徹底している。			3.9						9		12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・熱気球体験では、障がい者(車いす)でも搭乗できるようにスロープ付きのバスケットを導入している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地域の林業者や造園業者等と連携し、間伐材を箸づくりアクティビティや薪として有効活用している。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所内は木材をふんだんに使用した造りになっている。							7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・コロナ禍で影響があった阿蘇地域の観光業活性化に向け、地元旅館組合や地元施設等と連携し地域活性化に結びつけている。 (1)サービス(イベント『たベコギ』等)の開発 (2)地域限定クーポン等の参画。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・県内豪雨災害時には、寄付を実施している。 ・災害時、避難所になっていた学校でストレス軽減等を目的にアクティビティの提供をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害発生時に社員及び家族を含めた安全確認のために、SNSを活用した緊急連絡体制を構築している。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要なスキルを持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社員が救急救命の研修を受講し、資格の取得、更新をしている。 ・事務所にAEDを設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社員全員でSDGsについて勉強会を実施したり今後の取組を検討する場を設けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2	4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15			17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。